

2023 年度事業報告書

(2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日)

I. 事業概況

1. 事業の概要

2023 年度に当財団が行った事業は以下のとおりでした。

○褒賞事業 船井学術賞/研究奨励賞、FIT(情報科学技術フォーラム)船井業績賞及び船井ベストペーパー賞の授与を行いました。

○日本人海外留学生奨学事業

日本人海外留学生 66 名に奨学金を支給しました。そして 2024 年度の日本人奨学生として、11 名 (Ph.D.コース 10 名・学部コース 1 名) を決定しました。

財務状況について

2024 年 3 月 31 日現在の財団が保有する資産額は 113 億 24 百万円です。内訳は基本財産としては米国国債及び上場投資信託 24 億 40 百万円、特定資産としては投資有価証券 (外国国債、上場投資信託等) 85 億 22 百万円及び奨学事業記念資金 3 億 2 百万円、流動資産としては (現金・普通預金・外貨預金等) 60 百万円を保有しています。

2023 年度の収入は当財団の保有する外国国債、社債、上場投資信託等からの利金・分配金収入が 3 億 8 百万円ありました。事業活動等による支出の合計は 4 億 12 百万円で、収支差額は▲104 百万円となりました。2023 年度の計画では、収入は 2 億 86 百万円、支出は 3 億 74 百万円、収支差額は▲88 百万円でした。

収入が計画より 22 百万円増加、また支出が計画より 38 百万円増加しています。いずれの数値も大きく増加しているのは主に予算策定時に想定した為替レートが年間を通じて大きく円安方向に振れたことによるもので、収支差額の拡大については以上に加え予算策定時には含まれていた一部外国債券の利金の減少が影響しています。

2. 褒賞事業

(1) 船井学術賞・船井研究奨励賞

2023 年 10 月に日本国内の大学院・大学の研究機関及び過去の受賞者に応募要項並びにパンフレットを送付し、関係する学会にも財団ホームページのリンクを依頼しました。また、10 月 1 日からホームページ上で WEB 応募の受付を開始し、2024 年 1 月 15 日に応募を締め切りました。

2024 年 2 月 15 日に褒賞事業選考委員会を開催し、船井学術賞 6 件 (内船井哲良特別賞 1 件) と船井研究奨励賞 13 件を選考し、理事長が決定しました。なお、船井研究奨励賞は選考対象最下位 2 名に有意の差がなかったため、例年の 12 件から 1 件増やし 13 件としました。

(i) 応募状況

船井学術賞	:	43 件	(39 件)	()内は前年度応募件数
船井研究奨励賞	:	48 件	(39 件)	
合計		91 件	(78 件)	

(ii) 船井学術賞受賞者

受賞者	:	船井哲良特別賞 1 件	船井学術賞 5 件
褒賞金額	:	船井哲良特別賞 300 万円/件、船井学術賞 150 万円/件	

2023年度船井学術賞

氏名	所属先／役職	対象業績
【船井哲良特別賞】		
吉田悠一	国立情報学研究所情報学プリンシプル研究系 教授	アルゴリズムの平均感度解析の創始と発展
【船井学術賞】		
五十部孝典	兵庫県立大学大学院情報科学研究科 教授	超高性能暗号の設計と実社会展開
金子健太郎	立命館大学 総合科学技術研究機構 教授	新しい酸化物半導体の開拓とパワー半導体応用
川上恵里加	理化学研究所 理研白眉研究チームリーダー	真空中に浮いている電子の量子状態の読み出しと量子コンピュータ 実現への展開
月崎竜童	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 准教授	小惑星探査機はやぶさ2を実現したマイクロ波イオンエンジンの研 究
横矢直人	東京大学大学院新領域創成科学研究科 准教授	多次元高分解能衛星画像解析のためのデータ融合技術の研究

(所属先・役職は応募申請時のものです)

(iv) 船井研究奨励賞受賞者

受賞者 : 13 件

褒賞金額 : 50 万円

2023年度船井研究奨励賞

(五十音順)

氏名	所属先／役職	対象業績
有沢洋希	東京大学大学院工学系研究科 物理工学専攻 助教	磁気-歪み結合系におけるスピンメカニクス現象の開拓
井上智好	広島大学大学院統合生命科学研究科 日本学術振興会特別研究員PD	光伝播の複数動画像をワンショット記録可能な超高速動画イメージ ング技術の開発と応用
岩崎悠真	物質・材料研究機構マテリアル基盤研究セン ター 主任研究員	マテリアルズ・インフォマティクスによる新材料創製
甚野裕明	宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 助教	高性能な超薄型有機太陽電池を用いた電源内蔵型ウェアラブルエレ クトロニクスへの創出
神野莉衣奈	東京大学大学院総合文化研究科 助教	超ワイドバンドギャップ材料酸化アルミニウムガリウムの熱的安定 性に関する研究
鳴海紘也	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻 特任講師	理論上任意の立体形状に自動で折れる折紙の計算製造技術とその産 業応用
久富隆佑	京都大学 化学研究所 助教	マグノン誘起ブリルアン散乱の量子情報処理応用及び新散乱現象の 発見
日比野有岐	産業技術総合研究所新原理コンピューティン グ研究センター 研究員	スピン軌道トルク磁気メモリのためのスピンホール材料の開拓

氏名	所属先／役職	対象業績
宮原大輝	電気通信大学大学院情報理工学研究科 助教	カードベース暗号の理論と実践
室賀 駿	産業技術総合研究所ナノカーボンデバイス研 究センター 主任研究員	データ駆動型複合材料評価技術に関する研究
茂木将孝	東京大学大学院工学系研究科 助教	磁性トポロジカル絶縁体ヘテロ構造における量子化現象とスピント ロニクス機能の開拓
森 秀人	大阪大学 ヒューマン・メタバース疾患研究 拠点 特任准教授(常勤)	ゲノム編集を支援するソフトウェアツール群の開発
山本和樹	東京工業大学理学院物理学系 助教	開放量子多体系における超伝導と観測誘起相転移の開拓

(所属先・役職は応募申請時のものです)

(2) FIT（情報科学技術フォーラム）船井業績賞、船井ベストペーパー賞

FIT・選考委員会の推薦を受け、2023年9月7日に大阪公立大学にてハイブリッド開催された情報科学技術フォーラムにて船井業績賞(FIT2023)、船井ベストペーパー賞(FIT2022)を授与しました。なお、船井ベストペーパー賞は選考時期の関係により、表彰は当年ではなく翌年に行われます。

2024年2月15日開催の選考委員会において、情報処理学会からの推薦をもとに船井業績賞(FIT2024)の選考を行い、対象者を決定しました。

(i) 船井業績賞受賞者(FIT2023)

受賞者 : 1件
褒賞金額 : 100万円

氏名	所属先	対象業績
喜連川 優	国立情報学研究所長 東京大学総長特別参与 情報・システム研究機構理事 東京大学特別教授	大規模データベースシステムの超高速化に関する 先駆的研究

(ii) 船井ベストペーパー賞受賞者(FIT2022)

受賞者 : 3件
褒賞金額 : 20万円/件

氏名(所属)	対象業績
安井 達哉 (岡山大学)・Malik Asad (Aligarh Muslim University)・栗林 稔 (岡山大学)	重み一定符号を用いた DNN 電子透かしの検出法
藤井 翔太 (日立製作所/岡山大学)・佐藤 隆行・青木 翔 (日立製作所)・津田 侑 (情報通信研究機構)・川口 信隆・重本 倫宏・寺田 真敏 (日立製作所)	継続的かつ複数拠点からの観測に基づく悪性サイトのクロッキング調査
大河内 悠磨・Rizk Hamada・山口 弘純 (大阪大学)	可搬型 3 次元空間センシングデバイスを用いた軽 量なリアルタイム物体検出

(iii)船井ベストペーパー賞受賞者 (FIT2023)

FIT2023 船井ベストペーパー賞受賞者は以下の方に決まりました。2024 年 9 月広島工業大学で開催される第 23 回情報科学技術フォーラムで表彰される予定です。

氏名(所属)	対象業績
西村 仁志・加藤 晴久・河村 圭 (株式会社 KDDI 総合研究所)	動的メッシュ圧縮における変位量の量子化タイミングに関する検討
長久保 伊吹・堀川 三好・岡本 東 (岩手県立大学)・堀川 真伸 (阪神高速先進技術研究所)・松浦 弘治 (阪神高速道路)	濃煙トンネル空間における避難誘導を目的としたモバイル端末台数推定手法の提案

(3)褒賞式/贈呈式行事の開催

コロナ禍によりこれまでオンライン開催していた船井学術賞・船井研究奨励賞受賞者及び Funai Overseas Scholarship 授与者に対する褒賞式/贈呈式を、4 年ぶりに対面開催しました。

日時：2023 年 5 月 20 日 (土) 11:30~15:00

場所：ANA インターコンチネンタル東京

出席者：58 名

3. 日本人海外留学生奨学事業

(1)2023 年度における奨学金支給者

海外留学生 66 名対し、総額 3 億 23 百万円を支給しました。

氏名	年齢	所属先／留学先	FOS 年度
(ポスドク)			
小林雄貴	31	Stanford University	2015 年度
久門智祐	32	Massachusetts Institute of Technology	2015 年度
釣巻瑤一郎	34	Stanford University	2015 年度
磯村真由子	33	Harvard University	2016 年度
荏田裕也	30	University of California, Berkeley	2016 年度
谷川洋介	30	Massachusetts Institute of Technology	2016 年度
田主 陽	32	University of California, Berkeley	2016 年度
鄭 麗嘉	30	Stanford University	2016 年度
小松夏実	29	University of California, Los Angeles	2017 年度
塚本紘康	29	California Institute of Technology	2017 年度
馬淵祐太	30	Cornell University	2017 年度
(学生)			
大谷直樹	31	Carnegie Mellon University	2017 年度
村上 愛	32	Northwestern University	2017 年度
大岸誠人	32	The Rockefeller University	2018 年度
笠井淳吾	29	University of Washington	2018 年度
白井有樹	28	University of California, Los Angeles	2018 年度
山口光史郎	29	University of Washington	2018 年度

和田健司	30	New York University	2018 年度
大西基也	30	University of Washington	2019 年度
黒岩廣大	27	Hasso Plattner Institute	2019 年度
平山千明	30	University of California, San Diego	2019 年度
アムクロ	27	Carnegie Mellon University	2019 年度
安永迪弘	27	Stanford University	2019 年度
山岸 敦	30	Princeton University	2019 年度
勝山湧斗	27	University of California, Los Angeles	2020 年度
兼田真周	30	Yale University	2020 年度
古賀 樹	26	University of California, San Diego	2020 年度
穴倉真理	26	McGill University	2020 年度
五十嵐祐花	27	Massachusetts Institute of Technology	2020 年度
高柳早希	29	Johns Hopkins University	2020 年度
立石泰佳	29	University of Maryland	2020 年度
西尾祐哉	26	Stanford University	2020 年度
若原征哉	27	University of Minnesota, Twin Cities	2020 年度
荒川 陸	27	Carnegie Mellon University	2021 年度
磯部知弥	32	University of Cambridge	2021 年度
織井理咲	25	University of Washington	2021 年度
四方麟平	26	Johns Hopkins University	2021 年度
河野 麗	25	University of Pennsylvania	2021 年度
河野遥希	26	Massachusetts Institute of Technology	2021 年度
齋藤優太	25	Cornell University	2021 年度
妹尾 歩	25	University of Colorado at Boulder	2021 年度
花田美月	25	University of California, Berkeley	2021 年度
伊藤絵美	27	University of California, Berkeley	2022 年度
宇隨 佳	27	Massachusetts Institute of Technology	2022 年度
大西由吾	26	Massachusetts Institute of Technology	2022 年度
坂田莉奈	27	University of Cambridge	2022 年度
神宮亜良太	27	Saarland University	2022 年度
田中彬義	24	University of Virginia	2022 年度
長谷川公大	29	Carnegie Mellon University	2022 年度
平田 憲	24	University of Colorado Boulder	2022 年度
藤田 創	27	Stanford University	2022 年度
柳 伶旺	27	California Institute of Technology	2022 年度
青木俊樹	23	Massachusetts Institute of Technology	2023 年度
安齊 周	25	University of California, Los Angeles	2023 年度
安藤宏紀	26	University of Arizona	2023 年度
宇都隆宏	26	Eidgenössische Technische Hochschule Zürich	2023 年度

大島知子	28	Stanford University	2023 年度
金村真奈美	24	Carnegie Mellon University	2023 年度
河井理雄	27	Harvard University	2023 年度
清原明加	24	Cornell University	2023 年度
久壽米木啓悟	26	Cornell University	2023 年度
白川 亮	26	Massachusetts Institute of Technology	2023 年度
明石晃一	22	University of St. Andrews (学部生)	2021 年度
呉 悠	21	Boston University (学部生)	2021 年度
松尾理夏	20	University of California, San Diego (学部生)	2022 年度
勝山翔紀	19	University of California, San Diego (学部生)	2023 年度

(2) 2024 年度における奨学金支給候補者

学部留学、大学院留学ともに 2023 年 6 月 1 日～2023 年 9 月 30 日の間募集し、2023 年 10 月 21 日に書類選考（一次）、10 月 29 日に面接選考(二次)をおこないました。

[学部留学]

今回は 30 名の応募者があり、書類選考（一次）で 3 名を選考（選考後 1 名辞退）、面接選考(二次)を行いました。その選考委員会での選考結果に基づき、理事長が奨学金支給候補者 1 名を決定しましたが、他財団からの奨学金が得られたため辞退となりました。

[大学院留学]

今回は 134 名の応募者があり、書類選考（一次）で 25 名を選考、面接選考(二次)を行いました。その選考委員会での選考結果に基づき、理事長が奨学金支給候補者 10 名を決定しました。

氏 名	年齢	出身大学	進学予定
荒井智大	36	Katholieke Universiteit Leuven	Doctoral School of Biomedical Sciences, Katholieke Universiteit Leuven, Belgium
大古一聡	24	東京大学大学院情報理工学系研究科数理情報学専攻	Electrical Engineering and Computer Sciences, University of California Berkeley
川手里桜	23	明治大学理工学部機械工学科	Mechanical Engineering, California Institute of Technology
杉山優衣	24	京都大学医学部医学科	Neuroscience, Oregon Health & Science University
高橋秀明	22	東京大学学際科学科総合情報学コース	Computer Science, Columbia University
中島悠翔	21	京都大学理学部理学科物理科学系	Physics, University of Minnesota
宮武茉莉	25	東京大学大学院工学系研究科電気系工学専攻	Mechanical Engineering, University of California Berkeley
本橋悠人	22	東京大学工学部物理工学科	Quantum Engineering M.S., Eidgenössische Technische Hochschule Zürich

安室美陽	23	北海道大学農学部応用生命科学科	Biology, Georgia Institute of Technology
渡邊優大	23	京都大学大学院情報学研究科 情報学専攻	Department of Electrical and Computer Engineering, University of California San Diego

II. 庶務事項

1. 理事会

(1)第 62 回理事会

2023 年 5 月 20 日開催（Zoom によるオンライン会議）

決議事項

- 第 1 号議案 2022 年度事業報告承認の件
- 第 2 号議案 2022 年度収支決算承認の件
- 第 3 号議案 褒賞事業の補欠選考委員選出の件
- 第 4 号議案 評議員会招集の件

以上第 1 号議案から第 4 号議案まで承認可決されました。

報告事項

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

(2)第 63 回理事会

2023 年 6 月 14 日開催（Zoom によるオンライン会議）

決議事項

- 第 1 号議案 理事長、副理事長並びに業務執行理事の選任
- 第 2 号議案 事務局長の承認の件

以上第 1 号議案及び第 2 号議案は承認可決されました。

(3)第 64 回理事会

2024 年 3 月 2 日開催（於：船井ビル 3 階会議室 千代田区外神田 4-11-5）

- 第 1 号議案 2024 年度事業計画承認の件
- 第 2 号議案 2024 年度正味財産増減予算書承認の件
- 第 3 号議案 奨学事業選考委員 1 名選出の件

以上第 1 号議案から第 3 号議案は承認可決されました。

報告事項

代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

2. 評議員会

(1)第 44 回評議員会

2023 年 6 月 10 日開催（於：ANA インターコンチネンタルホテル東京）

決議事項

- 第 1 号議案 2022 年度事業報告承認の件
- 第 2 号議案 2022 年度収支決算承認の件
- 第 3 号議案 評議員選任の件

以上第 1 号議案から第 3 号議案まで承認可決されました。

(2)第 45 回評議員会（招集手続きの省略により開催）

2023 年 6 月 10 日開催（於：ANA インターコンチネンタルホテル東京）

決議事項

- 第 1 号議案 理事・監事の選任の件

第2号議案 常勤理事報酬額承認の件

以上第1号議案、第2号議案は承認可決されました。

3. 選考委員会

(1) 日本人海外留学生選考委員会<書類選考>

2023年10月21日にZoomを利用してオンライン書類選考(一次)を行いました。

学部留学では30名の応募者から面接候補者として3名を選考(選考後1名辞退)し、大学院留学では134名の応募者から面接候補者として25名を選考しました。

(2) 日本人海外留学生選考委員会<面接選考>

2023年10月29日に船井ビル会議室において面接選考(二次)を行いました。学部留学2名、大学院留学25名の中から奨学金支給候補者として学部留学1名、大学院留学10名を選考しました。

(3) 褒賞選考委員会

2024年2月15日に帝国ホテルカンファレンスルームにおいて選考委員会を開催し、2023年度船井学術賞6名(船井哲良特別賞1名含む)と船井研究奨励賞13名、FIT船井業績賞1名の選考を行いました。

4. その他

財団の広報活動の一環として、米国大学院学生会が日本の主要大学で開催する留学説明会に要する費用の一部(215.6万円)を支援しました。

2023年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書に記載すべき事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので、これを作成しません。

令和6年5月

公益財団法人船井情報科学振興財団